



ふじさと

み

とめあう

や

るきのある

き

たえあう

た

のしい学校

心を開く・言葉を磨く

学校長 道本美月



今年も和歌山市教育委員会から外国語指導助手（ALT）の先生が派遣されます。学校規模、学級数に合わせてスケジュールが組まれていて、宮北小学校には年間10回来校します。今年度から、3年生から6年生まで外国語活動を行いますので、担任とチームティーチングをします。また、1年生から6年生まで、順番で給食を一緒に食べて頂く計画をしています。今年度はネイイト先生が担当をしてくれます。



2020年、東京オリンピックに向けて世の中は大きな転換期を迎えています。和歌山城にも外国からの観光客がたくさん訪れています。

【5年生外国語活動】

英語だけでなく、様々な国の言葉が耳に入ってきます。「グローバル化」「国際化」が身近に感じられます。小学校で英語が教科化されることで、英語の早期教育にも熱が入っているのではないのでしょうか？ たしかに、英語や他の外国語を習得することは大切です。しかし、単に「ことば」だけを覚えることは、使える英語にはつながらない気がします。「ことば」は「ことだま」と言われるように、魂がこもっています。そこに、心が伴わなければ、真のコミュニケーションにはならないと思うのです。相手に敬意を払うこと、相手の文化を尊重することが肝要です。

そのためには、まず「英語って楽しい」から始まり、「英語を使って話してみたい」という心の素地を作ることが大切だと言われています。担任の先生が教えてくれるだけでなく、ALTの先生が学校に入ることで、子供たちのモチベーションを大いに高める役にたってくれます。その関わりの中で、他の国の人々とどう関わっていくかをしっかり学んで欲しいです。

嬉しいことに、ネイイト先生から「宮北の子供たちは、マナーも良く、授業の様子も素晴らしい。」という評価を頂いています。心を開いて、自分も相手も大切にしながら、豊かな感性を育み、「ことば」を磨いてもらいたいと願っています。子供たちが生きる21世紀は「予測不可能な時代」と形容されますが、人の心と言葉でのコミュニケーションの大切さは変わることがないと信じています。

4月24日の授業参観・育誠会総会へ多くのご参加をありがとうございました。育友会総会にて、次のことについて報告をしました。「平成29年度学校評価保護者アンケート」にて、「トイレの洋式化」「学校の教育活動の発信」についてご意見を頂いておりましたので、今年度、少しでも解消できるように取組みます。また、担任を通じて頂いている貴重なご意見は、出来るだけ早く反映するように努めます。学校、家庭、地域が一体となっこそ、子供たちのために力を発揮できると考えています。よろしくお願い致します。

今年度、職員室のある西校舎のトイレを1階から3階を洋式トイレへ改修することが決定しました。工事中の安全に万全を期してもらうように、現在教育委員会と調整中です。

今年度から道徳が教科化されました。「考え、議論する道徳」をキーワードに、主体的な深い学びを目指すように、教員研修に取り組みます。また、平成32年度からの外国語の教科化に向けて、3年生から外国語活動をスタートしています。

学校のことをより分かりやすく公開します。HPの充実や学年だよりの学校掲示、月1回程度の学校だよりの発行に努めます。HPもぜひご覧ください。

【交通安全教室写真】



大型連休、「ご安全に！」

交通事故は自分が気を付けていても、巻き込まれてしまう可能性がある理不尽な出来事です。4月25日には警察、交通指導員、交通安全母の会の方々のご協力です1・2年生対象に「交通安全教室」が開催されました。子供たちのかけがえのない命を守るために、学校と家庭が両輪となって、自分を守ることを教えていきたいものです。来るべき大型連休、楽しい計画がたくさんあると思いますが、どうぞ安全に気をつけてお過ごしください。

校長室「ほっとプレイス」通信



1年生も学校に慣れて、宮北小学校に溶け込んできました。入学式の翌日、玄関でお母さんと離れることができずに泣いていたA君、教室まで送って行って「パワーをあげるから大丈夫。」と手を握ると落ち着いてくれました。2日目は、自分から「少し泣いたけど大丈夫、パワーをちょうだい。」と元気に教室へ。3日目は、「今日は、学校の手前でお母さんとバイバイできたよ。」と日に日に自立していくその姿に感動をもらう毎日です。1年生の教室に時々顔を出して、「パワーいりませんか？」とパワーの押し売りをしています。子供たちから、逆に私がパワーをもらっているのですが！ちなみに、A君だけでなく、「今日はパワーが足りているから大丈夫。」とか、「少しだけ欲しい。」と自己申告してくれる子供たち。自分のことを言葉でしっかり伝えられることが素敵です！！子供それぞれの成長の仕方は違うものです。私たち大人は子供たちが、「もう大丈夫」とその手を自分から離すまで見守りたいものです。1年生だけでなく、それぞれの学年の成長段階で、少しずつ少しずつその歩を進めて欲しいと願っています。「みんなと違う」のではなく「みんな違う」ことが素晴らしいのです。